

【平成 29・30 年度鳥取県協働提案・連携推進事業 成果報告】  
Re（リ）：トトリプロジェクト～あなたが主役！鳥取県～  
「トトリで働く暮らす“ワケ” 教えます」

1. 【事業実施団体】NPO 等

Re：トトリプロジェクト研究会（鳥取市）

- ・県内企業について若者に知ってもらい、就職の選択肢の幅を広げてもらうとともに、鳥取県で働くビジョン（意義・人生設計）を持ってもらうため、県東部に I J U ターンした社会人等で構成する団体。

2. 【行政】県の協働担当課

とっとり暮らし支援課（現：ふるさと人口政策課）

- ・鳥取県の移住定住促進を担当する部署。移住定住をサポートする公益財団法人ふるさと鳥取県定住機構とも連携している。

3. 課題及び目的

鳥取県の 2007 年の合計特殊出生率は全国の 1.46 を上回る 1.69 であるものの、近年の傾向として、自然減（出生者数<死亡者数）に加えて、社会減（特に高校卒業後、県外進学した後に県内に希望する就職先が無い場合 U ターンできない者等の増加）による人口減少が拡大している。

このような状況の中、若者の I J U ターンの促進、特に県内高校生並びに県内出身者の大学生の U ターン志向、県内在学大学生の地元就職・起業を実質的に高める必要があり、そのために在学中から彼らに「鳥取県内だからこそ働く意義があること」の意識を持つことを推進、啓発することを本事業の目的とした。

4. 課題解決の手法

(1) 高校・大学生と社会人の“鳥取県での仕事を考える”

交流型セミナー「トトリワークビジョン」の開催

鳥取県に本社・支店のある会社や団体の職員、起業した方々を招き、実際の仕事内容や働くことの意義をフェイス・トゥ・フェイスで語り合い、将来、鳥取県内で仕事をするビジョンを持つことに繋げるセミナーを計 5 回（+特別開催 1 回）開催した。

第 1 回（2018 年 1 月 28 日／café MIRAI）

…参加者 15 名（高校生 8 名、大学生 7 名）

第 2 回（2018 年 6 月 17 日／北の大地）

…参加者 20 名（高校生 18 名、大学生 2 名）

第 3 回（2018 年 12 月 15 日／SUIKO WORK SHOP）

…参加者 12 名（高校生 9 名、大学生 3 名）

第 4 回（2019 年 2 月 23 日／米子市公会堂）

…参加者 8 名（高専生 4 名、大学生 4 名）

第 5 回（2019 年 3 月 17 日／鳥取だいぜん）

…参加者 14 名（高校生 12 名、大学生 2 名）

特別開催（2019 年 3 月 6 日／稲田屋日本橋店）

…参加者 14 名（大学生 3 名、若い鳥取県応援団 7 名、八頭町地域おこし団体 1 名、首都圏鳥取県ファンクラブ 1 名、一般社会人 2 名）



(2) 仕事ガイドブック「鳥取県で働きたい企業・人ベスト 48」

県内高校・大学生が「こんな働き方をしてみたい」と将来の県内就職・起業志向を高めることにつながる、鳥取県に本社・支店のある会社や団体の職員、起業した人を紹介するガイドを作成した。（体裁：A4 判 20 ページ、1,000 部）



#### [編集方針]

従来型の企業からの「求人情報」「業務内容」をメインにしたガイドではなく、鳥取での「やりがい」「達成感」「働く環境の良さ」といった、読み手が鳥取県内のこの企業等に就職・起業などをすることを具体的にイメージし、「自分らしく人間的に豊かな暮らし(自然環境ではなく社会充足的なこと)」が描くことができる内容とした。

### 5. 主な役割分担

#### 【事業実施団体】

- 高校大学生と社会人の交流型セミナー「トトリワークビジョン」の企画・運営。
- 仕事ガイドブック「鳥取県で働きたくなる企業・人ベスト48」の取材・制作・活用配布。
- ガイドブック掲載企業、交流セミナー参加企業の選出・確認。

#### 【行政】

- 県内で活躍する企業・団体・人の情報収集及びNPO等への情報提供。
- ガイドブック掲載企業、交流セミナー参加企業の選出・確認。
- 県内高校・大学、関係機関への打診や調整、会場確保等。

### 6. 成果

#### • 「トトリワークビジョン」

参加者からは、「こんな機会はめったにない」、「プレゼンにやりがいがあった」、「思いもよらないディスカッションが多かった」などの意見があり、学校事業や学生生活では得られない経験が得られる機会にもなった。

#### • 冊子「鳥取県で働きたくなる企業・人ベスト48」

掲載に当たり取材を行った企業・人からは、「高校・大学生に向けて、仕事でのやりがいを発見できる内容になっている」「会社案内とは異なるアプローチで企業に関心を寄せやすい内容」との高評価をいただいた。

冊子の対象読者は主に県内高校生・大学生が対象であり、彼らは3～6年後に本格的に働くことを意識することになる。そのため、「学生時代にしておくべきこと」を各企業や人からアドバイスの紹介することで、実際に鳥取県で働く企業等を選択する際に実践的に役立つ内容として活用することができる。

以上のことから、本事業は目的である「鳥取県内だからこそ働く意義があること」の意識を持つことを推進、啓発することに大きく役立つとともに、そのための手法(セミナー、冊子)の必要性を証明し、その礎も創ることができた。

### 7. 事業終了後の状況

今後、同様の体制で継続して事業に取り組んでいく予定。ただ資金面が難点であり、様々な方面に相談しながら、資金確保を行う必要性を感じている。

なお、企業がリクルート(新入社員)獲得のための広報費を増加させる傾向にあり、今後、横のつながりを広げながら、目に見える形で事業を進めていきたい。